

## ソニー子ども科学教育プログラム

### 2021年度（第1回）「教育実践計画」募集要項

<b>趣旨</b>	現在日本は、経済のグローバル化や人工知能の進化、そして少子高齢化など、様々な急速な社会的変化に直面しています。さらに、より高度な情報・知識に基づく多様で高い付加価値の提供が求められる社会状況の中で、子どもたちが生き抜き、人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育むことはとても重要です。教育課程においてその資質や能力を育むことに積極的に取り組んでいる先生を応援いたします。
<b>募集内容</b>	将来を担う子どもたちに必要な資質や能力を考え、日頃から指導の改善や創意工夫を行っている先生方のこれからの教育方針と授業計画を募集します。
<b>課題</b>	<p>これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していくこととするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と授業計画について提案してください。</p> <p>（研究目的が、課題に即していれば、将来を担う子どもたちに必要な資質や能力の詳細については課題以外のものであっても差し支えありません）</p> <p>※指定教科はありません。</p>
<b>応募対象者</b>	<p>国立、公立、私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員</p> <p>※管理職（校長、副校長、教頭）の方は応募できません。</p> <p>※前年度のソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」で優秀校・最優秀校を受賞した研究代表者は応募できません。</p>
<b>応募受付期間</b>	2021年8月2日（月）～2021年8月31日（火）
<b>応募方法</b>	<p>ウェブサイトからの応募のみ</p> <p>※当財団ウェブサイトの応募フォームよりご応募ください。</p>
<b>選定方法</b>	審査の観点に基づき、複数の予備審査委員が評価を行い、審査委員会にて選定します。
<b>入選者の発表</b>	2022年1月頃を予定
<b>審査委員会</b>	<p>●審査委員長 御手洗 康 学校法人共立女子学園 学園長 理事長、元文部科学事務次官</p> <p>●審査委員 渥美 雅子 弁護士 清原 洋一 学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部 教授 山下 修一 国立大学法人千葉大学 教育学部 教授 西谷 清 公益財団法人 ソニー教育財団 元理事長</p>
<b>助成金額</b>	<p>10万円</p> <p>※使用用途の指定はありません。</p>
<b>その他</b>	<p>2022年度に開催する「子ども科学教育研究全国大会」へご招待</p> <p>※旅費・宿泊費等を当財団の旅費規程にもとづき、負担します。</p>

<p><b>提出物の内容 と評価の観点</b></p>	<p>●現在の子どもたちの状況や経緯などから自分なりの研究課題を設定し、独自性のある工夫された授業実践の計画を①～④の項目ごとに示した内容に沿って記述してください。各項目の分量目安を参考に全体をA4判10ページ以内にまとめてください。</p> <p>(提出物は、当財団ウェブサイトにあるテンプレートをご使用ください)</p> <p>① <b>育てるべき資質や能力</b>・・・自分で設定した将来を担う子どもたちを育てるべき資質や能力について、その必要性を踏まえて記述する。</p> <p>(評価の観点) 明確性、必然性、論理性、こだわり(信念、想い) など</p> <p>(分量目安) 1ページ程度 ※目安であり、規定ではありません。</p> <p>② <b>子どもたちの現状</b>・・・子どもたちの置かれている環境や状況や学習レベルなどを客観的に把握することによって収集した情報に基づき、子どもたちの現状について記述する。</p> <p>(評価の観点) 客観的分析、裏付けになる情報とその信憑性など</p> <p>(分量目安) 1～2ページ程度 ※目安であり、規定ではありません。</p> <p>③ <b>教育支援の方針</b>・・・収集した現在の情報に加え、過去の実践経験や知見(失敗)なども踏まえ、教育支援の方針を記述する。</p> <p>(評価の観点) 妥当性、必然性、将来性、着眼点など</p> <p>(分量目安) 2～3ページ程度 ※目安であり、規定ではありません。</p> <p>④ <b>授業計画と準備状況</b>・・・教育支援の方向性をもとに、「自分がいつ、何をどのように行うのか」具体的な実践や行動に落とし込み、来年度以降の授業計画と準備状況を明確に記述する。</p> <p>(評価の観点) 計画の実現性、継続性、具体性、独自性/新規性、汎用性など</p> <p>(分量目安) 3～4ページ程度 ※目安であり、規定ではありません。</p>								
<p><b>入選者の 成果発表</b></p>	<p>・提案した計画(もしくはその一部)を実施し、当財団が2022年度に開催する「子ども科学教育研究全国大会」で、ポスターセッションにて成果(経過)発表を行っていただきます。</p> <p>・入選した計画内容は財団ウェブサイトに掲載し、一般公開します。</p>								
<p><b>作成規定</b></p>	<p>・A4判サイズで最大10ページ</p> <p>・文字サイズ: 本文/10.5ポイント以上、図表/8ポイント以上</p> <p>・図表の挿入は本文を補完するためのものに限る</p> <p>・参考・引用文献がある場合は本文中に明記</p> <p>※ Microsoft Wordのテンプレートをソニー教育財団のウェブサイトからダウンロードできます。</p> <p>・作成した提出物は、PDFファイルにし、応募フォームよりアップロードしてください。</p>								
<p><b>スケジュール概要</b></p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="387 1675 667 1720">2021年8月</td> <td data-bbox="667 1675 1441 1720">応募受付</td> </tr> <tr> <td data-bbox="387 1720 667 1776">2022年1月</td> <td data-bbox="667 1720 1441 1776">入選者決定通知</td> </tr> <tr> <td data-bbox="387 1776 667 1843">2022年4月以降</td> <td data-bbox="667 1776 1441 1843">入選者は、計画の実施を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="387 1843 667 1933">2022年秋頃予定</td> <td data-bbox="667 1843 1441 1933">入選者は、「子ども科学教育研究全国大会」にてポスターセッションにて成果(経過)発表する。</td> </tr> </table>	2021年8月	応募受付	2022年1月	入選者決定通知	2022年4月以降	入選者は、計画の実施を行う。	2022年秋頃予定	入選者は、「子ども科学教育研究全国大会」にてポスターセッションにて成果(経過)発表する。
2021年8月	応募受付								
2022年1月	入選者決定通知								
2022年4月以降	入選者は、計画の実施を行う。								
2022年秋頃予定	入選者は、「子ども科学教育研究全国大会」にてポスターセッションにて成果(経過)発表する。								
<p><b>留意事項</b></p>	<p>・ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「教育実践計画」へは応募できません。</p> <p>・他に応募したものの重複・二重応募は、審査対象外とします。</p>								

## 誤記訂正のお知らせ

2021年7月14日以前に配布しました募集要項について一部誤記がありましたので、下記の通り訂正いたしました。

### <訂正箇所> P.2 留意事項

(誤)

・ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「教育実践論文」へは応募できません。

(正)

・ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「教育実践**計画**」へは応募できません。